

平成23年度 財団法人上田市体育協会事業報告書

平成23年度、当協会は市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図ることを目的とし、市民一人ひとりがスポーツ活動を継続的に実践し、健康で生涯にわたりスポーツに親しむことができる明るい社会と競技力の向上につながるスポーツ環境を目指し、当協会加盟団体及び関係機関・団体と連携し次の諸事業を実施した。

1 市内3体育協会の統合について

平成15年5月より開始した財団法人上田市体育協会、丸子体育協会及び真田町体育協会の統合に向けた協議は、基本事項についての協議が整い平成23年4月1日に仮調印式を行い、12月17日には市内3体育協会統合基本協定調印式を納会の席上にて式典を開催した。

[平成24年4月1日をもって財団法人上田市体育協会、丸子体育協会及び真田町体育協会が統合し、新たな財団法人上田市体育協会が発足した。]

2 東日本大震災における義援金活動について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う被災地の青少年のスポーツ活動を支援するため、3月23日に開催した理事会・評議員会において義援金募金活動を展開することに決定し、総額500万円を目標として、加盟団体・スポーツ少年団に広く協力を依頼し義援金活動を展開した。支援先については、真田幸村公と所縁のある宮城県白石市の助言を得ながら甚大な被害をもたらした宮城県沿岸部2市3町へお預かりした義援金・支援物資を直接お届けしました。

また、当協会義援金活動の主旨に賛同いただきました自治会・企業の皆さまのご協力により目標額を大幅に上回り、最後に今回の支援先の助言を頂いた白石市に義援金を届けた。

○募集期間 : 平成23年3月24日(木)～平成24年3月30日(金)

○義援金総額 : 5,149,506円 ※内訳別紙のとおり

○支援先 : 宮城県／3市3町

支援先	第1次支援 (H23・4/25)	第2次支援 (H23・7/4)	第3次支援 (H24・3/16)	支援総額	支援物資 (信州リンゴ)
名取市	600,000円	400,000円		1,000,000円	8,400円
岩沼市	600,000円	400,000円		1,000,000円	8,400円
亘理町	600,000円	400,000円		1,000,000円	8,400円
山元町	600,000円	400,000円		1,000,000円	8,400円
南三陸町	600,000円	400,000円		1,000,000円	8,400円
白石市			100,000円	100,000円	7,560円
計	3,000,000円	2,000,000円	100,000円	5,100,000円	49,560円

※運動用具等の支援物資については、第1次訪問時に届ける。

- 第1次訪問者 体育協会：源副会長 増沢副会長 丸山副会長 宮下事務局長（4名）
教育委員会：小山教育長 佐藤体育課長（2名）
- 第2次訪問者 森会長、丸山副会長、宮下事務局長、西川事務局職員（4名）
- 第3次訪問者 宮下事務局長（1名）

3 新公益法人制度改革への移行について

一般財団法人への移行決定に伴い、最初の評議員の選定方法について県教育委員会に申請し認可をいただいた。また、移行の役員定数については、県内の財団体育協会の対応を基に検討を行ない、県下5市財団体育協会との情報交換を行った。

4 スポーツ活動の推進と行政との連携について

上田市教育委員会の「上田市スポーツ振興計画」に沿い、ビジョン検討委員会で協議を進めていた「うえだスポーツ振興ビジョン」を2月に策定した。

今後はビジョンの具体化を図るため「ビジョン推進会議」を早急に設置する。

- 方針 針 『生涯健康・元気都市うえだの実現』
- スローガン 『明るく！楽しく！元気よく！あいさつがこだまする協会を目指して』
- キャッチフレーズ 『スポーツで地域づくり いい汗 いい顔 いい仲間』

5 競技力向上事業の推進について

(1) 競技力の一層の向上を図るため、競技力向上事業補助金交付規定に基づき、以下の6団体に対して強化選手の指定を行ない、競技力向上への取り組みに対し補助金を交付した。

また、加盟団体のヒアリングを行い競技力の向上のための現状把握に努めた。

[23年度強化選手]

- ① 上田陸上競技協会 (1団) 上田東御小県チーム
- ② 上田アーチェリークラブ (3名) 宮原雅 関一也 斉藤あや子
- ③ ボウリング連盟上田支部 (1名) 竹下将弘
- ④ 上田乗馬倶楽部 (3名) 増田真七海 若林凜香 羽毛田ひなの
- ⑤ 上田レスリング協会 (6名) 滝沢晃頼 甲斐譲 矢野口力 赤羽健 藤松卓矢
マルチネスタダシ
- ⑥ 上田剣道連盟 (1名) 中島多恵

(2) 市民やスポーツ指導者の資質向上を目的としたスポーツ講演会・講習会を実施した。

[講演会]

○シリーズスポーツ講演会

- ・2月6日(月) 上野が丘公民館 19:00～20:30
- ・講師：野口京子氏(長野大学准教授・ロス五輪女子バレーボール銅メダリスト)
- ・演題：「我が子は将来トップアスリート？」
- ・参加：83名

[講習会]

○スポーツ栄養学講習会

- ・ 5月14日（土）上野が丘公民館 10:00～13:00
- ・ 講師：堀内真由美 氏（管理栄養士・フードコーディネーター）
- ・ 内容：栄養学及び実技
- ・ 参加：25名

○AED講習会（普通救命講習会）

- ・ 6月2日（木）上田城跡公園第二体育館 13:00～16:00
- ・ 講師：上田中央消防署職員2名
- ・ 参加者：86名

○テーピング&ストレッチング講習会

- ・ 2月19日（日）自然運動公園総合体育館 9:00～16:00
- ・ 講師：長野県柔道整復師会東信支部 上小スポーツボランティア委員会13名
- ・ 参加者：40名

6 青少年スポーツ振興及び育成事業の強化について

- (1) 青少年のスポーツ活動を支援するため、スポーツ少年団の育成支援、登録促進に努め、36団、団員・指導者2,504名・役職員11名が登録した。

○スポーツ少年団登録状況

年度	登録団数	団員数	指導者数
22年度	34団体（26種目）	2,093人	436人
23年度	36団体（27種目）	2,055人	449人

- (2) 市内小・中学校及び保育園へ入団の案内チラシを配布し新規団員の加入を進めた。
- (3) 上田市スポーツ少年団創設25周年記念事業を実施し、スポーツ少年団活動の更なる充実を図った。

ア) 新たなスポーツ少年団の結成

- 「ちびっこなんでもスポーツ少年団」の結成

イ) 階層別講習会の開催

- 11月26日 上田市染屋台グラウンド 参加者123名
- 元読売巨人軍 篠塚和典氏・定岡正二氏による少年野球教室

ウ) 交流大会の開催

- 11月3日 上田城跡公園陸上競技場 参加者561名

エ) 卒団者による講習会・講演会の開催

- 軟式野球、スキー、FC東上田、スポーツ少年団で実施

オ) ボランティア清掃の実施

- 市内しなの鉄道駅周辺、上田橋・常田新橋・上田大橋などの清掃

○5月～8月 参加延べ人数 13団、508名

7 体育施設整備の促進について

(1) 平成20年度より全面改修整備を進めていた旧県営野球場跡地の染屋台グラウンドは工事が終了し新しく多目的グラウンドとして生まれ変わった。なお、芝生管理などは使用関係団体の協力が必要であり今後の課題である。

また、加盟団体に対して施設改善要望アンケートを実施し市へ要望をおこない小規模修繕など幾つかの施設の改善が図られた。

(2) 国史跡上田城跡内体育施設の改築・改修については、可能か不可能かの基本的な考えについて、文化庁への意向確認についての上田市への要望を行った。要望の回答は、史跡内の体育施設の改修を行なうことは困難との文化庁の見解が示された。また、施設専門委員会では、城跡公園内体育施設整備についての研究を行なうため、山形市への先進地視察を行った。

○先進地視察

- ・期 日 平成23年7月27日(水)～28日(木) 1泊2日
- ・視察先 山形県山形城跡・霞城公園 (山形市教育委員会スポーツ保健課)
山形市総合スポーツセンター (財団法人山形市体育協会)
山形県総合運動公園 (やまがたスポーツパーク株式会社)
- ・参加者 副会長3名、施設専門委員7名、体育施設係長、事務局2名

8 スポーツ教室・大会・講習会・研修会の開催と支援について

市民の生涯スポーツへの参加と健康及び体力向上を図るため、スポーツ教室・大会・講習会・研修会の開催・支援を行った。

9 市民の健康体力づくり運動への支援について

市民が自主的で主体的な活動を行うことのできる環境づくりを目指し開催している「市民健康体力づくりの日」事業は上田城跡公園体育館休館日を利用して着実に実施され、1月から3月までの冬期間には古戦場公園多目的室内運動場でゲートボールを実施し、多くの参加者より好評を得ている。また、参加者の健康サポートを行なうため、市健康推進課の協力を得て体力チェックを実施した。

9月1日には開始以来600回の節目を迎え佐久整形外科クリニック中村崇先生(理学療法士)による体力向上セミナーを開催した。

○22年度 49回開催 延べ参加者数 5,797人

○23年度 47回開催 延べ参加者数 5,820人

10 スポーツ交流の推進について

第14回「野球の日」野球大会を8月7・8日に開催し、姉妹都市の上越市をはじめ県外からのチームを招いての交流や長野県スポーツ少年団剣道交流大会、東信地区軟式野球交流大会を開

催し、青少年の交流を図った。

また、東日本大震災被災地の子どもたちを招待し上田青年会議所と協力して交流事業を行った。

○上田青年会議所認証 50 周年記念 平成 23 年 10 月 8～10 日 コトヒラ工業グラウンド
・福島県田村市「引船レッドボーイズ」「引船スポーツ少年団」と「上田市軟式野球スポーツ少年団」の軟式野球交流

○長野県スポーツ少年団剣道交流大会 11 月 13 日 (672 名)

○長野県スポーツ少年団東信地区軟式野球交流大会 5 月 21・22・28 日 (447 名)

1 1 体育功労者及び優秀選手等への表彰について

本協会表彰規程に基づき、理事会で決定し、体育功労賞 8 名、栄光賞個人 2 名を表彰した。

また、国、県、市等への表彰について内申を行った。

○体育功労賞受賞者 (8 名)

山岸 幸男 (上田市軟式野球連盟) 高橋 利雄 (上田スキークラブ) 吉池 豊 (上田柔道協会) 宮崎 完 (上田市弓道協会) 矢島 忠 (上田ソフトボール協会) 太田 政敏 (上田合気道協会) 中曽根 彬 (上田市スポーツダンス協会) 岡村 徹 (会長推薦)

○栄光賞受賞者 (2 名)

野崎 新市 (ボウリング連盟上田支部) 竹下 将弘 (ボウリング連盟上田支部)

○日本体育協会・日本オリンピック委員会創立 100 周年記念功労者表彰

遠藤 利治 (元上田市体育協会会長) 久保 忠夫 (前上田市体育協会会長)

○長野県スポーツ振興功績者表彰

久保 忠夫 (前上田市体育協会会長)

○上田市功労・善行表彰 (6 名) [上田市体育協会会長推薦]

清水克也 (体協理事) 山浦和男 (バドミントン) 宮原政廣 (少年硬式野球) 寺西始代 (ソフトテニス) 佐渡武夫 (スポーツ少年団) 土屋康雄 (スポーツ少年団)

1 2 国体選手の激励と壮行会の開催について

上田市から長野県代表として参加する国体の選手・監督・コーチ・トレーナーを激励するため、9 月 27 日 (火) に市役所本庁舎 6 階大会議室で体協役員・関係者の出席により盛大に壮行会を開催した。

また、出場した馬術競技・増田真七海選手、ボウリング競技・野崎新市選手の 2 名が優勝した。

○第 66 回国民体育大会 山口国体出場者数

【選手 23 名、監督 4 名、支援コーチ 7 名、派遣トレーナー 1 名、合計 35 名】

陸上競技 (6 名) バスケットボール競技 (1 名) レスリング競技 (11 名) 馬術競技 (1 名)

弓道競技 (2 名) 剣道競技 (1 名) 山岳競技 (2 名) アーチェリー競技 (8 名) なぎなた競 (1

名) ボウリング競技 (2 名)

1 3 広報活動の推進について

市民のスポーツへの関心や理解を深めてもらうため、様々なスポーツ情報を広く市民への提供

に努めた。また、上田ケーブルビジョンと協力して「スポーツだより」の開設に協力した。

○ 体育協会ホームページによる情報提供 ○ <http://zuku.umic.jp/hp/ueda-taikyo/>
(23年度アクセス件数 1,514件)

○ 広報誌の発行

体育協会や各加盟団体の様々なスポーツ情報を広く市民に提供するため、広報誌「体協うえだ」を今年度より丸子・真田・武石地域への配布を拡大し市内全域に自治会回覧とした。

・回数 年2回発行 ・時期 8月、12月 ・部数 各12,000部

14 県大会規模以上の各種競技大会開催に向けての誘致活動と開催支援について

「第25回上田古戦場ハーフマラソン」の開催や全国から170チーム約4,000名が集う「第23回全日本生涯野球大会」、1,688名の参加があった「真田幸村公ロマンウォーク」など加盟団体の運営協力により盛大に開催され上田市の観光PRにも寄与した。

15 加盟団体組織の充実強化について

加盟37団体において自主的なスポーツ活動がスムーズに実施できるよう運営支援を行った。補助金の交付に当たっては、役員体制、総会（役員会）に提出した事業計画、予算書、事業報告、決算書などの資料提出を求めて執行していることから、全般にわたって適正な会計処理がなされ、改善されて来ている。

また、加盟団体の現状の把握と今後の体育協会の活動方針及びビジョンへ反映させるため、初めてヒアリングを実施した。

16 賛助会員の募集拡大と財源確保について

財政基盤強化のため財務専門委員会において企業団体、個人等に対し賛助会員の加入促進を図った。また、賛助会員の拡大を図るため、体育協会ホームページへの掲載や体育施設等へのポスター等の設置を検討した。

昨今の厳しい経済状況の中、財務専門委員会だけでの会員確保は困難なため、今後も加盟団体の皆さんの協力がより一層必要である。

○賛助会員の状況（平成24年3月31日現在）

年 度	会員数	金 額	継続会員	新規会員
22年度	266	270万円	262	8
23年度	256	257万円	252	4

17 スポーツ会館の建設及び特定基金について

上田市教育委員会スポーツ推進課との連携強化を図ることを優先にすることと厳しい財政状況のなかでのスポーツ会館の建設は凍結し、今後、特定積立基金の取り扱いについては一般財団法人への移行と併せ明確にする。

18 スポーツに関する調査研究について

(1) 講演会の開催

○上田市議会スポーツ振興議員連盟 スポーツ講演会（共催）

- ・11月25日（金）JA信州うえだ会議室 10:00～12:00
- ・講師：小林敬和 氏（上田市出身 JOC専任コーチングディレクター）
- ・演題：「国家スポーツ戦略としてのトップスポーツのあり方と地域拠点の活用」
- ・参加者：43名

(2) 先進都市体育協会視察

山形市のスポーツ振興計画等の策定状況や市と体育協会との事業区分及び連携等などについてスポーツ振興先進地の視察を行った。

- ・期 日 平成23年7月27日(水)
- ・視察先 財団法人山形市体育協会

(3) 5月19日に発生した自然運動公園アーチェリー場事故の再発防止のため、スポーツ活動中の安全指導について加盟団体・スポーツ少年団への周知徹底を行った。

19 他機関・他団体事業との連携・協力について

(1) 市民のスポーツ活動支援として、地域事業所及び学校のスポーツ大会への審判員派遣を加盟団体と協力して行なった。

(2) (財)長野県体育協会の事業については連携協調を図りスポーツの振興に努めた。

(3) 東信都市体育協会連絡協議会は、8月23日に上田市、小諸市、佐久市、東御市の4市体育協会により東御市で開催し、身体教育医学研究所による研修会と各市提案事項の協議や情報交換を行い、東信地区4市の連携を図った。

(4) 県下5市財団法人体育協会（長野・松本・岡谷・飯田・上田）事務局会議を上田市の提案により3月22日松本市で開催し、各体育協会の課題である新公益法人制度改革移行についての情報交換をおこない、移行に向けた資料等の提供を受けた。